

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年8月4日
議員名	西田 一平

事業No.	459	
事業名	観光協会助成事業	
担当課	観光交流課	所管委員会 産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の 説明)	廃止	要改善		○ 現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の 説明)	廃止	縮小	現状維持	○ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
観光協会は、観光案内、情報発信、石見神楽を核とした誘客、特産品販売、観光商品の造成など、浜田市の観光実務を幅広く担っている。令和7年度は夜神楽の実施回数・来場者数・県外客・外国人客がいずれも前年度を上回り、自主事業収入も伸びている。観光入込客数は目標未達であるものの、天候要因の影響も大きく、全体としては滞在型観光と地域経済への波及に一定の成果が認められるため、事業内容はおおむね現行どおり評価できる。
(予算規模について)
観光協会は公益性の高い業務を担う一方、管理費補助金の大半が人件費相当であり、家賃や維持管理費は自主財源で補っている。さらに、自主財源拡大に向けて特産品販売、EC、夜神楽、広告・着地型観光商品などの強化にも取り組んでいる。今後、情報発信強化、誘客拡大、地域事業者連携を進めるには、現場を回す人材と運営基盤の安定が不可欠である。よって、自助努力を前提に、管理運営体制の安定化のため予算はやや拡充すべきである。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
1. 人件費・管理費を含めた補助制度の再整理 公益事業を安定的に担う団体として、管理費補助の実態を踏まえ、家賃・維持管理費も含めた制度設計を検討する。 2. 増額は成果確認とセットで行う 夜神楽来場者数、県外客比率、宿泊波及、EC売上、広告収入などを毎年度確認し、増額分がどの成果に結びついたか見える化する。 3. 自主財源拡大の後押し はまどく強化、着地型観光商品の造成、プレミアム席や有料席、広告事業など、補助金依存を下げる収益事業を市としても制度面で支援する。 4. 市との役割分担の明確化 政策立案は市、実務運営は観光協会という整理を基本に、重複業務を減らし、観光協会が現場機能に集中できる体制を構築する。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年8月4日
議員名	今田 実延

事業No.	459		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

- ・行政と観光協会の役割分担、観光協会の組織体制について
行政の観光交流課については、実質窓口業務や予算要求業務などに集約し、余剰分の職員に関しては、観光協会へと出向とし、観光協会が実働部隊として全てを担う。観光協会自体の組織もスリム化を図り、自分たちのやりたいことを迅速に意思決定ができる組織体制へと改編する。
- ・後継者の育成及び先進事例先の視察について
浜田市と同規模で、浜田市と同じような地域資源を持ち、成功している先進地はたくさんあり、先進事例を実際に見て学び持ち帰り浜田市に活かすことが最も重要である。
- ・事業の適正な振り分けについて
浜っ子まつりに年間0.5人工の負担がかかっており、他事業に着手できていないのが現状。地元住民の参加が多い祭で観光の要素が薄いため、慣例に従うのではなく適正な団体に事業を振り分ける必要がある。

(予算規模について)

浜田市からの現在の助成金だけでは当事業全体をまかなうことはできず、自主財源や内部保留金を充てている状況。今の現状では新規事業に着手する場合等は、他の事業を廃止して取り組む必要がある。予算を拡充するのではなく、まずは組織体制の見直しや行政との役割を明確化、そして自主財源を増やすことを最優先事項として取り組む必要があると考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
・行政との役割を明確化する ・組織のスリム化をし、意思決定の迅速化及び即行動できる仕組みづくりの構築 ・先進事例視察の強化 ・映画を軸とした観光 ・島根あさひ社会復帰促進センターを拠点とした観光 ・アマチュア写真家と連携した、体験型撮影スポットの研究 ・外国人の観光客を誘客する目的及び組織のスリム化、業務の効率化を図るために、観光協会と国際交流協会を統合する。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	岡山 令子

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

観光振興を効果的に進めるためには、観光協会が担う役割を明確にし、行政との役割分担を整理する必要がある。市が担うべき業務と観光協会が担うべき業務を明確にした上で、観光協会が自ら収益を生み出し、観光振興に再投資できる「稼ぐ観光協会」への移行を進められたい。民間事業者との連携や自主財源の確保を含め、持続的な運営体制を構築されたい。

(予算規模について)

予算の拡充・見直しについては、まず観光協会が担う事業内容や役割を整理し、市と観光協会の業務分担を明確にした上で検討すべきである。その上で、必要な事業に対して適切な予算配分を行われたい。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	遠藤 祐之

事業No.	459	
事業名	観光協会助成事業	
担当課	観光交流課	所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

観光事業及び産業振興に対して、一般社団法人浜田観光協会の事務及び事業に対してしっかり補助を行っていた。

(予算規模について)

観光連携、宣伝事業などもう少し予算があっても良いのではないかと考えるため。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

執行率100%のため、拡充することでさらに補助が行えるのではないかと考えるため。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	花田 香

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は本市の観光振興には必要な助成事業であると認識している。が、根本的な在り方を基本にした課題があり、改善を図っていただきたい。
(予算規模について)
改善を前提とした現状維持。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	戸津川美二

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
当協会は、観光振興の中心を担う組織と認識している。担当委員会においてヒアリングをされており、課題等を検証されている。 業務内容において市との重複があるとの指摘については、整理される必要があると感じる。 協会の組織体制について、効率的な組織体制など組織強化が求められている。 担当委員会で提案されている内容をできることから順次遂行されることを業務改善としてお願いされたい。
(予算規模について)
業務内容を整理、成果検証などを行い、組織強化も進められる中で予算については、改めて拡充等を検討され、当面の間は、現行どおりとされたい。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年 8月 4日
議員名	村木 勝也

事業No.	459		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)	
・ 行政と観光協会の役割分担の実施 ・ 観光協会の組織体制の見直し ・ 先進地視察の実施 ・ 市民イベント事業の効率化	
(予算規模について)	
・ 自主財源の比率を上げ、魅力ある職場づくりに取り組む ・ 速やかな意思決定ができる体制づくりのためにも、自主財源の比率を上げることの調査研究	

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
・ 浜田市のスポーツ施設と温泉で、スポーツ×リカバリー（疲労回復）×食・カルチャー」を連動させた観光事業として構築することはどうでしょうか。 ・ 既にされているかもしれませんが、浜田市教育文化振興事業団との連携はされていますか。 ・ 「アスリートめし&温泉」運動後の栄養補給と温泉による疲労回復をセットにしたブランディングです。浜田港で揚がる新鮮な魚介（アジ、穴子、のどぐろ等）や地元産の野菜・米・豚肉等を使い、栄養士監修の「リカバリー御膳」を温泉旅館やレストランなどで提供。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年 9月25日
議員名	森谷 公昭

事業No.	459		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善	現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)	
事業効果の定量的検証の欠如 ・当該事業（予算投入）がなかった場合の比較データ（反実仮想・カウンターファクチュアル）が示されていない。 ・明確なKPI（重要業績評価指標）、CBA（費用便益分析）、および事業実施前後のビフォーアフターによる検証が不可欠である。	
宿泊需要の逼迫とビジネス客の締め出し（クラウドイング・アウト） ・巨額の観光予算やイベント誘致を行わなくても、市内には一定数（固定客を含め十分な水準）の宿泊需要が存在している。 ・大規模イベント等の開催によって宿泊施設が埋まり、本来受け入れるべきビジネス出張客が市内に宿泊できず、江津市や益田市へ流出・宿泊せざるを得ない事態が生じている。	
(予算規模について)	
宣伝・広報コストの過大 ・予算規模を抑え、広報紙（広報はまだ）や地元ケーブルテレビ等を通じた基本・地域密着の告知で十分対応可能である。	

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
市民・地域ボランティアの疲弊への配慮 ・イベントや祭りを過度に開催・肥大化させることで、疲弊し負担を感じている市民や関係者が存在するという現実を直視すべきである。 ・日々の生活や本業に追われる中で、無償のボランティアとして動員・参加させられる市民の精神的・肉体的負担を真摯に受け止め、事業の縮小・見直しを図るべきである。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年8月5日
議員名	大谷 学

事業No.	459	
事業名	観光協会助成事業	
担当課	観光交流課	所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止		要改善		現行どおり			
	(事業を廃止もしくは凍結)		(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)			
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止		縮小		現状維持		拡充	
	(予算はゼロ)		(予算は縮小)		(予算は現状維持)		(予算は拡大)	

■ 評価判定に至った理由

（事業内容について）
公でもなく民でもない機動性があり、予算執行の自由度もある中間組織の提言を考える必要がある。パンフレットなど工夫はされているが他の観光地と比較しインパクトが欠け、更なる改善が思う。
（予算規模について）
「アジフライの聖地」のような幟やポスターなど観光地としての盛り上がりを醸すような装飾やイベント企画には予算が必要と考えるため。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
・ 中間組織の提言

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月25日
議員名	沖田 真治

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■ 評価判定に至った理由

（事業内容について）
本事業は、浜田市の観光振興を担う実働組織である浜田市観光協会の活動を支えるものであり、観光情報の発信や観光客の誘致、観光資源の活用など、重要な役割を果たしている。一方で、イベント事務局や石見神楽関係の業務、海水浴場の管理など幅広い業務を担っており、限られた人員の中で観光振興の企画、営業等に十分な力を振り向けられているか検証が必要。今後は業務を整理し、市と観光協会の役割を明確にするとともに、観光協会がより主体的に観光振興を担える体制へ段階的に見直す必要がある。
（予算規模について）
現状通り

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
1. 業務整理と役割分担の明確化 観光協会が現在担っている業務について、事務量や目的を整理し、市・観光協会・民間等の役割を明確にすること、その上で、観光商品の造成、情報発信、営業等、観光協会本来の機能に人員と時間を振り向けられる体制を検討すること。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	足立 豪

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の 説明)	廃止		○ 要改善		現行どおり			
	(事業を廃止もしくは凍結)		(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)			
予算規模 の評価 (区分の 説明)	廃止		○ 縮小		現状維持		拡充	
	(予算はゼロ)		(予算は縮小)		(予算は現状維持)		(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
宿泊者数は「目標達成」とされるが、R7実績267,155人はR6(291,333人)から8.3%減少しており、R8目標237,000人はR7実績を下回る水準で、目標として機能していない。観光入込客数はR6・R7とも目標に届かず(達成率88.3%・86.3%)、約150万人で横ばいである。しかも両指標は他事業の効果を含み、本補助の成果を測れない。本部人件費を含む運営費補助である以上、補助と成果の対応関係を明確にする見直しが必要である。
(予算規模について)
総事業費はR6決算3,604万円→R7最終予算3,769万円→R8予算4,074万円と、2年で約470万円(13.0%)増加し、ほぼ全額が一般財源である。一方、観光入込客数は横ばい、宿泊者数は減少に転じており、増額に見合う成果は示されていない。R8増額の理由も本シートに記載がない。市は観光協会業務の集約化と一体的推進体制を検討しており、重複業務の整理による経費の縮減が前提となるべきことから、R8増額分を精査のうえ縮小とする。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
1 成果指標の再設定：観光入込客数・宿泊者数に加え、協会事業に直接帰属する指標（主要イベント来場者数、神楽公演の観客数、SNSの到達数、観光案内所の利用件数等）を設定すること。宿泊者数の目標は実績を踏まえて上方修正すること。 2 補助内訳の開示：補助金のうち人件費・管理費と事業費の割合、及びR8増額の内訳を示すこと。 3 一体的推進体制：R8の調査で市と協会の業務の重複を洗い出し、統合後の役割分担、経費削減見込み、実施時期を明示したうえでR9予算に反映すること。 4 自主財源の確保：協賛金・物販・受託収入等の自主財源拡大の目標を設定し、補助への依存度を段階的に下げること。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日

令和8年 8月 4日

議員名

川上 幾雄

事業No.	459	
事業名	観光協会助成事業	
担当課	観光交流課	所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

観光振興事業と市民イベント事務が混在し、観光協会の本来機能が生かされていない状態や、市と協会の業務重複により、補助金の効率性が低下しているように見受けられる。また、協会の組織体制（給与水準・理事構成・属人化）により、補助金の適正執行にリスクが生まれている。最後に、海水浴場管理など、直営事業との役割分担が曖昧になっているように受け止めた。

(予算規模について)

管理費補助は人件費相当であり、急な増減は組織運営に支障をきたしかねないので、運営事業内容・必要人材等を協会と協議の上措置すべき。事業費補助は公益事業の継続に必要であるが、夏まつり事務局など非効率部分は改革が必要であろう。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

本補助事業目的は妥当であり、観光振興に不可欠な事業である。しかし、事業手法・組織体制・役割分担に構造的課題が存在（市・協会両方）しており、改善に当たっては市・協会が役割を再検討することから始められることを奨める。協会側への改善提案としては、組織体制の改革を行うことが重要で、理事会のスリム化、専門人材の登用（SNS・旅行業・マーケティング）、給与体系を見直し職員の働き方改善を図る、業務の属人化を防ぐための事務分掌・標準化、などを行うことが必要です。この中で理事会のスリム化については、構成を専門性重視して改める必要がある。また、市は政策立案・協会は実働に特化するなど、PR・誘客業務の重複解消も必要。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年 9月4 日
議員名	柳楽 真智子

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	
			拡充	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
業務内容の見直しが必要と考える。
(予算規模について)
補助割合は他自治体等と比較して低くない状況であるため。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	串崎 利行

事業No.	459	
事業名	観光協会助成事業	
担当課	観光交流課	所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

観光協会の業務の見直しなど必要。

(予算規模について)

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
業務の大部分が恒例イベントの取組に費やされており、課題である観光振興の戦略が十分に打ち出せていない印象がある。長年培われてきた市との関係や理事会組織など意思決定の仕組みでは対応できない局面に至っている。観光協会が新たな発想を取り入れ、主体性を持って観光施策を推進出来るための体制の確立が求められる。
(予算規模について)
現状維持

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
浜田市の観光振興を担う観光交流課と浜田市観光協会の役割については重複する部分が多い。現行の組織や運営体制が牽制しあう関係にあり、理想的な観光戦略推進の障壁になっている。効果的な観光戦略を推進するためには単なる役割分担の分担の明確化や見直しにとどまらない抜本的な機構改革が必要である。限られた予算で最大限努力されていることは理解できるが、先進地視察も満足に出来ず、職員の処遇改善も図られない現状では効果的な観光交流事業は望めない。モチベーションをアップし優秀な人材が育ち、自由度を高めることで、公益事業、自主事業を展開できる環境整備を図るべきである。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年8月4日
議員名	笹田 卓

事業No.	459			
事業名	観光協会助成事業			
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
本事業は、浜田市の観光振興を担う観光協会の運営を支援し、観光案内、情報発信、イベント開催、石見神楽をはじめとする観光資源を活用した誘客を推進する重要な事業であり、今後も継続して実施すべき事業である。 一方で、現在の事業はイベント運営や情報発信が中心となっており、宿泊者数や観光消費額の増加など、地域経済への波及効果を十分に検証できる仕組みとなっていない。また、市自身も課題として挙げているように、市と観光協会の役割が一部重複しており、事業の整理・再構築が必要である。 今後は、「イベントを開催する観光」から「地域で稼ぐ観光」へ発想を転換し、観光客数だけでなく、宿泊者数や観光消費額、地域経済への波及効果を重視した事業へ改善を図るべきである。
（予算規模について）
観光振興は浜田市の重要施策であり、現時点で予算を縮小すべきではない。 一方で、予算を拡充する前に、観光協会が自ら収益を生み出す体制づくりを進めることが重要である。補助金に依存するだけでなく、旅行商品の造成や体験型観光、観光物販など自主財源の確保を進めることで、観光協会自身が「稼ぐ組織」となることが求められる。 そのため、現段階では予算は現状維持とし、事業内容の見直しと収益力強化を優先すべきと考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
① 成果指標については、イベント参加者数やホームページアクセス数だけでなく、宿泊者数、観光消費額、滞在時間、リピーター数など、地域経済への波及効果を適切に評価できる指標へ見直すこと。 ② 観光協会は補助金に依存する運営から脱却し、旅行商品の企画・販売、体験型観光、有料コンテンツ、特産品販売など、自主財源を確保できる「稼ぐ観光協会」への転換を図ること。 ③ 石見神楽だけでなく、浜田の食、漁業、歴史、自然など多様な地域資源を組み合わせた滞在型観光を推進し、観光消費額の向上につなげること。 ④ 市と観光協会の役割分担を明確化し、市は観光戦略や広域連携を担い、観光協会は観光商品の造成や営業活動など実践的な役割を担うことで、効率的な観光推進体制を構築すること。 ⑤ 民間事業者や宿泊施設、飲食店、旅行会社などとの連携を強化し、観光客の滞在時間延長と地域内消費の拡大につながる観光コンテンツの充実を図ること。 ⑥ 行政視察で学んだ先進事例も参考に、イベント中心の観光から地域全体で継続的に収益を生み出す「稼ぐ観光」を基本方針として位置付け、観光協会の機能強化を進めること。 予算規模を「現状維持」とした考え方 観光振興は浜田市の重要施策であり、必要な予算は確保すべきであるが、まずは現行予算の中で事業の整理・重点化を進め、事業効果を最大限発揮することが重要である。 また、観光協会においては、旅行商品の販売、体験型観光、有料イベント、物販事業など、自主財源の確保に積極的に取り組み、補助金だけに依存しない持続可能な経営体制を構築すべきである。 浜田市の観光は、観光客数だけを追う時代から、観光消費額や地域経済への波及効果を高める「稼ぐ観光」へ転換する必要がある。本事業はその中核を担う事業であり、成果を適切に評価できる仕組みへ改善した上で、観光協会が自立的に収益を生み出せる組織となるよう機能強化を図るべきである。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	岡本 正友

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
観光客誘致促進事業、観光客受入整備事業、観光連携・宣伝事業など、それぞれの取組は本市の観光振興に必要な事業として評価する。 一方で、市民や観光客から観光案内看板の劣化や表示等について指摘があることから、観光客を迎える環境整備の一環として、看板の現状把握、点検及び修繕・更新についても事業として明確に位置付ける必要がある。また、観光協会だけで対応するのではなく、看板の設置主体や管理区分を整理し、関係部署・関係団体と連携した対応を求める。
(予算規模について)
現行の観光振興事業に必要な予算は維持しながら、劣化した観光案内看板の修繕・更新に必要な予算を追加・拡充することを求める。 看板については、観光客への情報提供や観光地への誘導に直結する重要な受入環境であることから、単発的な修繕ではなく、計画的な点検・修繕・更新ができる予算措置を検討する必要がある。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
観光看板の設置場所、管理者、劣化状況等を把握・整理し、優先順位を定めて計画的な修繕・更新を行うとともに、関係部署・関係団体と連携して適正な管理体制を構築する。あわせて、必要な修繕・更新費を予算化し、観光客にとって分かりやすく良好な案内環境の整備を求める。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
観光行政を進める母体としてその役割を明確化し、観光事業者、商工団体、経済団体などとの連携と役割分担などの位置づけるとともに、行政は後方支援に徹し必要に応じた先導的事業の実施、国県や他自治体との折衝などを担う
(予算規模について)
現行の予算で上記事業内容の方向で進め、執行にあたっては予算の効率的執行、メリハリをつける

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
観光行政の推進、観光資源の高付加価値化をめざし、協会体制の拡充、人材の確保を図ることで、観光情報発信の先鋭化、観光プロデュース機能の向上を図る

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日

令和8年9月24日

議員名

佐々木豊治

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止		要改善		現行どおり			
	(事業を廃止もしくは凍結)		(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)			
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止		縮小		現状維持		拡充	
	(予算はゼロ)		(予算は縮小)		(予算は現状維持)		(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

補助金に頼らない体質になっており、努力されている。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日

令和8年9月24日

議員名

西田 清久

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

現行どおりとするが、将来的には更なる自主事業や営業活動等も視野に入れた成長戦略を期待したい。

(予算規模について)

観光協会の将来を見据えた職員の建設的意見や成長戦略を後押しするだけの予算は、拡充すべき。

■ 改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート（令和7年度事業）

作成日	令和8年9月24日
議員名	川神 裕司

事業No.	当No. 459・実No. 230		
事業名	観光協会助成事業		
担当課	観光交流課	所管委員会	産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)

本事業は観光振興における重要な役割を担っている「観光協会」に対する助成事業であり、今後もその役割の重さに変わりはないと考える。しかしながら、最近は取り扱う事業が相当数増加しており、本来の観光振興に対して主体的に取り組む熱量に少々疑問を感じる。また多くの課題も山積しておりその解決に向けて積極的に取り組む必要がある。

(予算規模について)

予算に関しては自主財源の確保にしっかりと取り組むことを期待すると共に、費用対効果の精神を実践していただきたい。そのような状況の中、財源に関しては現状維持でよいのではないかと考える。

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

以前から指摘をされているが、イベントの消化が目立ち、本来浜田市の観光振興に資する事業提案や実践の部分が弱いのではないかと。また観光交流課との役割分担は明確にして、下請け的業務にならないように企画・運営をお願いしたい。

併せて組織体制の強化は避けて通れないと考える。